



京 都
超SDGs研究会
2023

SDGs達成のための【シティズンシップ】
を考える

2023年10月～2024年3月__全5回

京都超SDGsコンソーシアム

本件幹事企業: アデコ株式会社

株式会社国中環境開発

「SDGs」とは？

◆国連において2015年に採択された世界共通の目標

- ・持続可能な開発目標＝Sustainable Development Goals
- ・17の目標及び169の指標からなる2030年に向けた指針



◆京都超SDGsコンソーシアムにおける「SDGs」

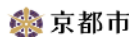
- ・本コンソーシアムにおいては、SDGsの達成に資する産官学民を通じて献活動が、多様な形で展開してきました。
- また、最近では、多くの学生さんが、SDGsの実践活動に関わり、若い感性でユニークなアプローチを展開している。

- ・他方、SDGsやそれを取り巻く状況については、賛否様々な意見も存在し、議論が尽きない。
- ・議論を続けながらも、世界や地域におけるSDGsの取り組みが、真に持続可能な社会の実現につながるように、産官学民が一体となり様々な活動を通じて、社会に貢献していくことが求められる。
- ・本プログラムは、社会(今回は皆様)との対話を通じ、それを実現する第一歩としたい。

◆この通り、「SDGs」と言っても、人や組織それぞれの捉え方がある。プログラムの最後には、参加者それぞれの言葉で伝えられるようになると同時に、参加者間で語りあう関係性を構築することを目指したい。



京都超SDGs
コンソーシアム



「京都超SDGs研究会」2023年度概要

参考:昨年度の実施内容【後掲】

【研究会の概要】

○会員: SDGsを深く理解し、真のSDGs目標の設定を望む法人 (毎年度20法人限定)

(ex.)SDGsに対する自社独自の新たなアプローチを模索する法人

○実施日程案: 2023年 10月13日(金)、11月17日(金)、

2024年 1月26日(金)、2月16日(金)、3月or4月にまとめ回実施予定

※全5回 開催時間14:00~17:30

○会費: 20万円/法人・5回

※自治体・NPO・市民の方でオンラインのみの場合5回5千円の特別枠あり。学生は無料。

○開催地/方法: オンサイトは総合環境地球研or京都大学orその他/原則全てオンライン参加も可

【2023年度テーマ】

社会・環境・経済から「シティズンシップ」を考える

「環境」「経済」「社会」は、私たちが生活を営む上で必要不可欠で、相互に深い関係性を持ち影響しあっています。2022年度は、各分野について現状と課題、これからの方向性を考え議論しました。今回は、「環境」「経済」「社会」をベースに、SDGs目標達成の為に必要なシティズンシップを考え議論したいと思っております。

【運営体制】

○研究会コーディネーター : 浅利美鈴【総合地球環境学研究所(ちきゅうけん)教授】

○事務局 : 株式会社国中環境開発 【後掲】

○主催 : 京都超SDGsコンソーシアム【後掲】ほか

講義 & ディスカッション & 実践活動を通じて、 貴社におけるSDGsのエキスパートを育成

目指す人材:

- SDGsについて、ひと通りのことは理解している。
- SDGsについて、情報感度もよく有益な人脈もある。
- SDGsを使って、俯瞰的に社会を見ることが出来る。
- SDGsに関して、柔軟で大胆な発想をすることが出来る。
- SDGs視点で、貴社事業を主観かつ客観的に考察することが出来る。
- SDGsに対して、疑問を持ち考え続けることが出来る。
- 不確実な世の中や将来を前にしても、SDGs的な視点で生産的な考え方や行動をとることが出来る。



この人材が、「目標設定」「経営への統合」等、
貴社内SDGs議論のキーパーソンとなります。

「京都超SDGs研究会」 2023年度のプログラム

～SDGs目標達成のためのシティズンシップを考える～

今回の趣旨:

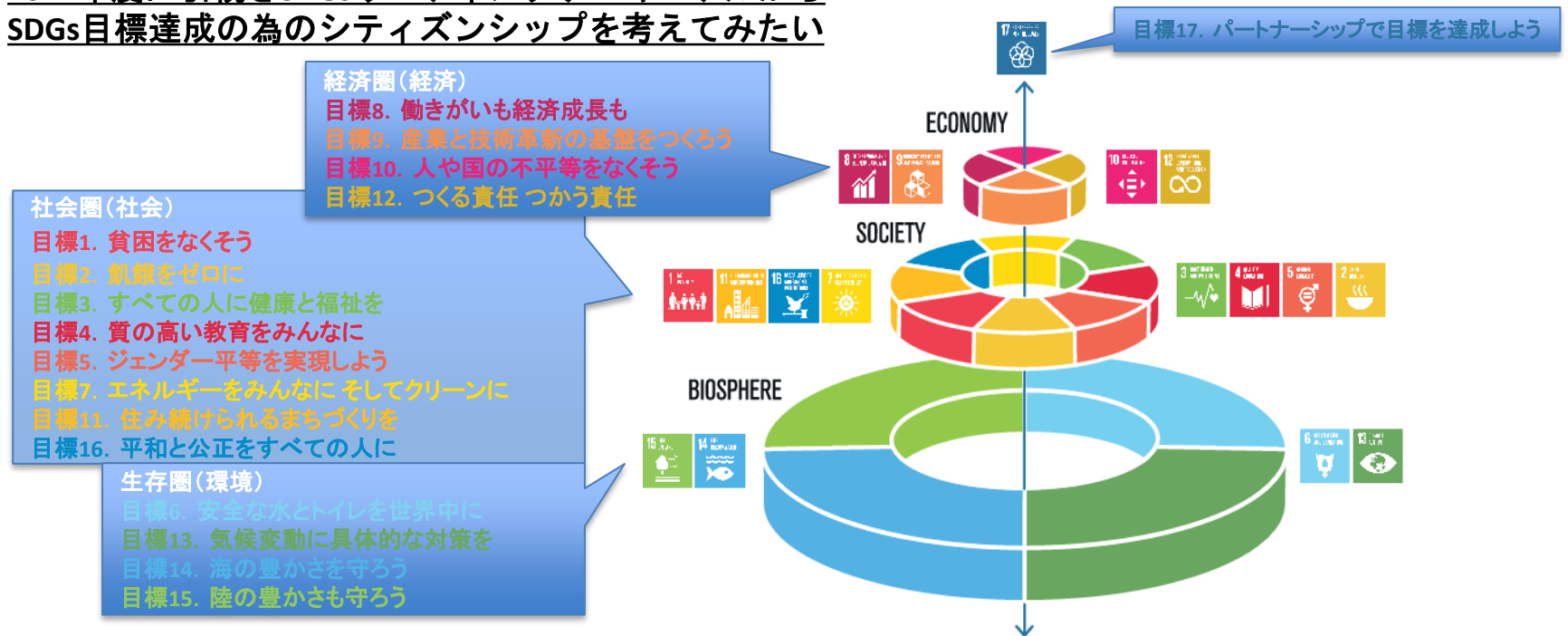
シティズンシップ (Citizenship) とは？日本語では概ね「市民性」、「市民権・公民権」と訳されますが、「市民社会で如何に振舞うか」といった概念へと広がってきています。まずシティズンシップを考える上で基本と考えるのは、社会モデルをどのように設定するかです。今私達が過ごし生きる社会は、様々な弱者にではなく、ごく一部の強者に偏重しております。強者に偏重した社会では、SDGsの目的である格差の是正や共に生きることはとても困難であります。社会全体で多様性を受け入れていく必要がある今、多様性を持つ「(社会から与えられる)らしさ」を、今の社会の今までと現在を、一度立ち止まって見つめ直し、これからを議論し考えていく上で、その時々に必要なシティズンシップを議論し考えていく機会としたいと思います。

今までの「(社会から与えられる)らしさ」(問題ある部分も含めて)を理解し、これからの「らしさ」(問題解決)を考える。なので、「このように」社会を変えたいの「このように」をまずは問うた上で、「このように(多面性や多様性を受け入れる姿勢を含んで)」変えるには個人、組織・集団が「市民社会で如何に振舞うか」問う必要があり、皆様と考える場にしたいと思っております。

今回の研究会では、前回から引き続き人間者社会がどうあるべきか？SDGsでそれが達成できるのか？を更に考えたいと思っております。

前回同様に私達の足元である、社会がどの様に成り立っているのか？(成り立ってきたのか？その構成要素として環境、経済を含んで考える)思い込みを取り払って、一度根本的に見直し、これからを捉えなおす機会としたいと思っております。

2022年度に引続きSDGsウェディングケーキモデルからSDGs目標達成の為のシティズンシップを考えてみたい



第1回 10月13日(金) 14:00-17:30

環境から考える

※初回は公開講座となります(申し込み多数の場合は先着順)

場所:オンサイト:総合地球環境学研究所

(<https://www.chikyu.ac.jp/>)

オンライン:ZOOM

<趣旨説明等>

本研究会テーマや目的など

-浅利美鈴氏より

5min

-アデコ 坪井氏・国中環境開発 国中氏より

10min

<レクチャー>

「SDGs時代のシティズンシップについて考える」

-浅利美鈴氏による レクチャー&質疑応答

90min

<交流ディスカッション>

-SDGs研究会参加企業・団体による ピッチトーク-

①会社紹介(社内におけるSDGs等の取り組み)②インド視察報告

③コロナ禍あけの変化 ④本研究会に求めること

Total: 60min

※地球研の研究者も参加予定

<懇親会>

-地球研のオープンキッチンにシェフを招いての懇親会を予定



浅利美鈴

【総合地球環境学研究所
(ちきゅうけん) 教授】

「ごみ」や「環境教育」が研究テーマ。
また、「びっくり!エコ100選」や「びっくりエコ発電所」「3R・低炭素社会検定」「エコ〜るど京大」「京都超SDGsコンソーシアム」などを立ち上げ、社会にムーブメントをおこすべく実践・啓発活動や情報発信にも力を注いでいる。

第2回 11月17日(金) 14:00-17:30

社会から考える

場所:

オンサイト: 京都大学吉田キャンパス総合研究3号館

オンライン: ZOOM

<レクチャー>

「ウェルビーイングな社会のつくり方」

-草郷孝好氏による レクチャー&質疑応答 30min

<後半 ディスカッション> 120min

-ディスカッション、発表、草郷氏からのフィードバック 55min × 2

-総括10min

草郷孝好氏のレクチャーを受け、グループディスカッションを行います。(※テーマは2つを予定。内容は当日共有します。)ディスカッション内容を各グループごとに発表して頂き、草郷氏からフィードバックを頂きます。



草郷孝好

関西大学

社会学部 社会学科

社会システムデザイン専攻 教授

詳しくは、研究室のHP

http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~tkusago/ja/ja_top.html

★事務局お勧めの参考情報

SDGs問答「産学公民連携でウェルビーイングを高める」に出演されております。

以下のURLからご視聴して頂けます。

<https://www.youtube.com/watch?v=eeu7Cj6oD60>

著書:「ウェルビーイングな社会をつくる～循環型共生社会を目指す実践」ウェルビーイングをキーワードに、どうすればどのようにすれば持続可能な社会にできるかを考え具体的な実践を示す書籍です。

第3回 1月26日(金) 14:00-17:30 社会(家族)から考える

場所:

オンサイト: 京都大学吉田キャンパス総合研究5号館
(1階大会議室106号室)

オンライン: ZOOM

<前半レクチャー>

「20世紀体制に囚われた日本を前に進めるには
-人間の持続可能性を支えるケア・家族・ジェンダー-」

-落合 恵美子氏による レクチャー 90min

-質疑応答

<後半 ディスカッション>

70min(ディスカッション40min 発表20min 総括)

↓↓

※今回、落合先生のレクチャーの間に3つのグループディスカッションタイムを設け、それぞれのテーマでお話しいただく時間を設けるスタイルで実施予定です。



落合恵美子氏

京都産業大学

現代社会学部 現代社会学科教授
京都大学名誉教授

京都産業大学 現代社会学部HP

https://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/professors/fs/ochiai_emiko.html

★事務局お薦めの参考情報:

京都大学での最終講義がYouTubeにUPされています。

https://www.youtube.com/watch?v=rjaDD-66L_s&t=1s

著書「21世紀家族へ—家族の戦後体制の見かた・超えかた(第4版)」初版から四半世紀現在第4版のベストセラー。戦後の家族のありようや男女間の変化をデータを元に分かりやすく解説。

第4回 2月16日(金) 14:00-17:30 社会(ジェンダー)から考える

場所: 京都大学吉田キャンパス
オンライン: ZOOM

<前半レクチャー>

「つくられる〈農村女性〉から

現代女性のエンパワーメントを考える」

-岩島 史氏による レクチャー 90min

-質疑応答

<後半 ディスカッション>

70min(ディスカッション40min 発表20min 総括)

岩島史氏のレクチャーを受け、グループディスカッションを実施。グループディスカッションのテーマは特に定めず、感想、質問、意見などをレクチャーの内容に沿って各グループで自由に対話予定



岩島史氏

京都大学

大学院経済学研究科

附属プロジェクトセンター 講師

京都大学 教育活動データベース

https://kdb.iimc.kyoto-u.ac.jp/profile/ja.2ce71e6693066229.html#display-items_basic-information

★事務局お薦めの参考情報：

著書『つくられる〈農村女性〉 戦後日本の農村女性政策とエンパワーメントの物語』は、農村女性の地位向上をめざしてきた政策が、政策目標に応じた女性像を「エンパワーメント」の理想としてつくっていく過程を描いており、現在の国際開発や女性のエンパワーメントを考え直すきっかけとなる書籍です。

第5回 開催日時未定(2024年3or4月で開始予定) 振り返りディスカッション

場所:未定

オンライン:ZOOM

<ディスカッション>

ディスカッション120min

発表40min

総括20min

<内容>

第1回から4回までのレクチャーの内容に基づいて、ウェルビーイングな社会をつくるために必要な、シティズンシップのありようを、各グループ毎でディスカッションをして、発表して頂きます。

総括については、浅利美鈴氏が行います。

【参考】昨年度の実施概要

● 講師 & テーマ一覧

京都大学大学院	地球環境学堂	准教授	浅利美鈴	導入及びナビゲーション
環境省 地球環境局	脱炭素ライフスタイル推進室	室長	井上雄祐	「日本における脱炭素化の動き」
京都大学大学院	経済学研究科	教授	諸富徹	「脱炭素化による経済の変容」
京都大学	人文科学研究所	准教授	藤原辰史	「『食べること』を世界の真ん中において、世界のあり方を根源から見直す」
京都大学	人と社会の未来研究院	教授	内田由紀子	「持続可能な社会に向けてのウェルビーイング」

- ・ 参加：20の企業・団体
- ・ 主催：京都超SDGsコンソーシアム 事務局：(株)国中環境開発

「京大SDGs研究会」2023年度のプログラムを支えるメンバー

●事務局：株式会社国中環境開発



國中 雅之
常務取締役
そもそも、今ある企業は何らかの形でSDGsに関わっていると考えます。当社は廃棄物の処分をとおしてSDGsに関わっています。今後はそれだけではなく、様々な領域でSDGsに関わっていき、持続可能な社会を実現すべく活動を行っていきます。

●京都超SDGsコンソーシアム

浅利 美鈴
総合地球環境学研究所
「ごみ」や「環境教育」が研究テーマ。
また、「びっくり！エコ100選」や「びっくりエコ発電所」「3R・低炭素社会検定」「エコ〜るど京大」「京都超SDGsコンソーシアム」などを立ち上げ、社会にムーブメントをおこすべく実践・啓発活動や情報発信にも力を注いでいる。



河村 翔
京都超SDGsコンソーシアム事務局



【参考】京都超SDGsコンソーシアム



考え

行動し

発信

【コンセプト】
 1,300年の歴史を持つ京都。
 SDGs目標年である2030年を超えて、
 また、17の目標を超えて、
 持続可能な社会の在り方を追及したい。
 その想いを込めて、
超SDGsと謳っています。



お問合せ先

●京都超SDGsコンソーシアム拠点
京都超SDGsコンソーシアム事務局
浅利美鈴、河村翔

Email:
kyoto.beyondsdgs.conso@gmail.com

●事務局
株式会社国中環境開発
國中雅之

〒591-8011
大阪府堺市北区南花田町463-1
Email: m.kuninaka@kuninaka-env.gr.jp